

## ⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



### 安全のための注意事項を守る。

この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。

### 定期的に点検する

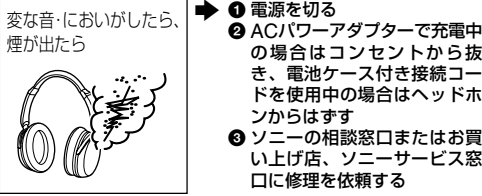
1年に一度は、ACパワーアダプターのプラグ部とコンセントとの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

### 故障したら使わない

動作がおかしくなったり、ACパワーアダプターなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

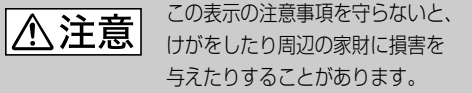
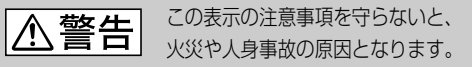
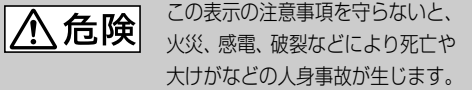
### 万一、異常が起きたら

ソニーの相談窓口、またはお買い上げ店に修理を依頼する。

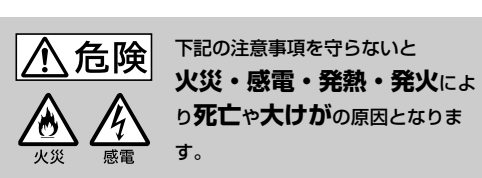


### 警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



<b>注意を促す記号</b>			
<span><span>⚠</span></span> 注意	<span><span>🔥</span></span> 火災	<span><span>⚡</span></span> 感電	
<b>行為を禁止する記号</b>			
<span><span>🚫</span></span> 禁止	<span><span>🚫</span></span> 接触禁止	<span><span>🚫</span></span> 分解禁止	<span><span>🚫</span></span> ぬれ手禁止
<b>行為を指示する記号</b>			
<span><span>🔌</span></span> スラグをコンセントから抜く			



**指定以外のACパワーアダプターを使わない**
充電するときは、必ず指定のACパワーアダプターを使用してください。

破裂や電池の液漏れ、過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。



**火の中に入れてない**

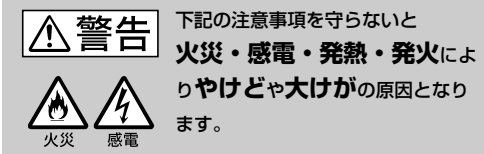


**分解しない**

故障や感電の原因となります。内部の点検および修理はソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご依頼ください。



**火のそばや炎天下などで充電したり放置しない**



**運転中は使用しない**

自転車やバイク、自動車などの運転中はヘッドホンは**絶対**に使わないでください。交通事故の原因となります。

**周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しない**

歩行中でも音量を上げすぎるとまわりの音が聞こえなくなり危険です。また、このヘッドホンは周囲の音を低減するタイプですので、警告音なども聞こえにくくなります。踏み切りや横断歩道、駅のホーム、車の通る道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では使わないでください。



**内部に水や異物を入れない**

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、ACパワーアダプターをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



**雷が鳴りだしたら、ACパワーアダプターに触れない**

感電の原因となります。



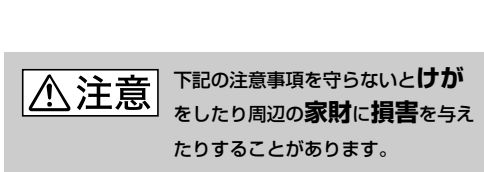
**ぬれた手でACパワーアダプターをさわらない**

感電の原因となります。



**本体やACパワーアダプターを布団などでおおった状態で使わない**

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



**大音量で長時間続けて聞きすぎない**

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。耳を守るため、音量を上げすぎないようにご注意ください。



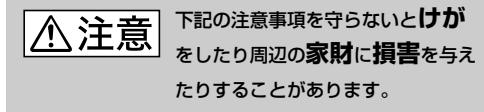
**はじめからボリュームを上げすぎない**

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。接続した機器のボリュームは徐々に上げましょう。とくに、MD、CDやDATなど、雑音の少ないデジタル機器を聞くときにはご注意ください。



**通電中のACパワーアダプターや製品に長時間ふれない**

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。



**肌に合わないと感じたときは、使わない**

肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して、医師またはソニーの相談窓口、お買い上げ店にご相談ください。



● 本機を使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに本機の使用を中止してください。

**長時間使用しないときはACパワーアダプターを抜く**

長時間使用しないときは、安全のためACパワーアダプターをコンセントから抜いてください。

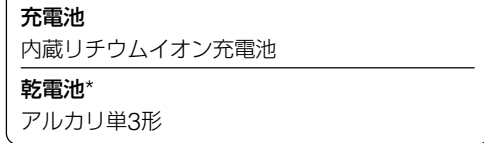


**お手入れの際、ACパワーアダプターを抜く**
ACパワーアダプターを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

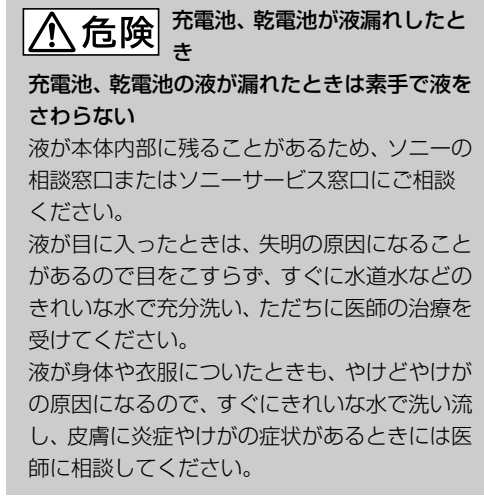


<b>電池についての安全上のご注意</b>
液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による <b>大けがや失明</b> を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。
電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。
<b>充電電池</b> 内蔵リチウムイオン充電電池
<b>乾電池*</b> アルカリ単3形

\* マンガン乾電池のご使用は、持続時間が極端に短いため、おすすめしません。



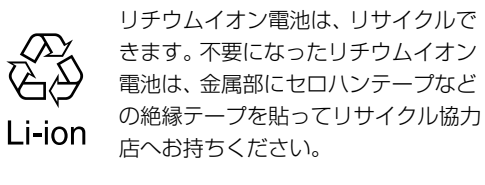
● 液漏れした電池は使わない。



⚠ **注意** **乾電池**について

- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。

⚠ **注意** **日本国内での充電電池の廃棄**について



充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については有限責任中間法人JBRCホームページ http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html を参照してください。



## 保証書とアフターサービス

**保証書**

- この製品には保証書が添付されているので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

#### アフターサービス

調子が悪いときは**まずチェック**をこの説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはお買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

**保証期間中の修理**は保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

**保証期間経過後の修理**は修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

#### 部品の保有期間について

当社ではヘッドホンの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

よくあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用ください。 <b>http://www.sony.co.jp/support</b>	
<b>使い方相談窓口</b> フリーダイヤル ……………0120-333-020 携帯電話・PHS一部のIP電話 ……………0466-31-2511	<b>修理相談窓口</b> フリーダイヤル ……………0120-222-330 携帯電話・PHS一部のIP電話 ……………0466-31-2531 <small>*取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。</small>
<b>↑</b>	<b>↑</b>
上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に <b>「309」＋「#」</b> を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。	
<b>FAX（共通）</b> 0120-333-389 <b>受付時間</b> 月～金:9:00～20:00 土・日・祝日:9:00～17:00	
ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1	

## SONY

3-278-744-02(1)

# ノイズキャンセリングヘッドホン

## 取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠ **警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください**。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



©2008 Sony Corporation Printed in Malaysia

<b>主な特長</b>	
● <b>独自開発、DNCソフトウェアエンジンを搭載した、デジタルノイズキャンセリングヘッドホン</b> 高精度なキャンセル信号生成により、約99％*1の卓越した騒音低減を実現	
● <b>AIノイズキャンセリング機能搭載</b> その場の騒音を分析し、最適なノイズキャンセリングモードを自動選択	
● <b>デジタルイコライザーにより、理想的な周波数特性を実現、高音質での音楽再生が可能</b>	
● <b>デジタル信号処理により、高SN比の実現</b>	
● <b>徹底した軽量設計による快適な装着性</b> マグネシウム・超々ジュラルミン等の軽量素材を惜しみなく使用	
● <b>イヤークッション材に低反発発泡ウレタンを使用</b> 長時間の使用でも疲れを感じさせません	
● <b>周囲の音が聴き取れるモニター機能搭載</b>	

## 主な仕様

<b>一般仕様</b>	
形式	密閉ダイナミック型
ドライバユニット	40 mm、ドーム型 (CCAW採用)
最大入力	100 mW
インピーダンス	40 Ω (1 kHzにて)
感度	102 dB/mW
再生周波数帯域	5～24,000 Hz
総騒音抑制量 (TNSR) <sup>*2</sup>	約20 dB <sup>*1</sup>
電源	DC 3.7 V：内蔵リチウムイオン充電電池、電池ケース付き接続コード、またはACパワーアダプター
質量	約195 g
付属品	接続コード (金メッキステレオミニプラグ0.5 m) (1) 接続コード (金メッキL型ステレオミニプラグ1.5 m) (1) 電池ケース付き接続コード (1) チャリングケース (1) 航空機用プラグアダプター <sup>*3</sup> (1) 金メッキプラグアダプター (ステレオ標準プラグ↔ステレオミニジャック) (1) 単3形アルカリ乾電池 (2) ACパワーアダプター (1) 取扱説明書 (1) ファーストステップガイド (1) プロダクトインフォメーション (1) 保証書 (1)

<sup>[1]</sup> 当社規定の航空機シミュレートノイズ下における、ノイズキャンセリングモードA時と、ヘッドホンの非装着時との比較による値です。総騒音抑制量 約20 dBは音のエネルギーで約99％の騒音低減に相当します。

<sup>[2]</sup> 当社測定法による。モード毎の総騒音抑制量については別冊のプロダクトインフォメーションをご覧ください。

<sup>[3]</sup> 機内の音楽サービスによっては、対応ができない場合があります。

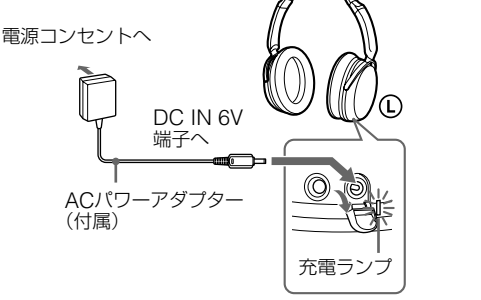
本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

## 準備

## ヘッドホンを充電する

本機はリチウムイオン充電電池を内蔵しています。充電してからお使いください。

付属のAC/パワーアダプターを、ヘッドホンのDC IN 6V端子と電源コンセントにつなぎます。ヘッドホンの充電ランプがオレンジ色に点灯し、充電が始まります。



約3時間後に充電が完了し、充電ランプが消灯します。充電が完了したら、AC/パワーアダプターをはずします。

### ご注意

- 必ず付属のAC/パワーアダプター（極性統一形プラグ・JEITA規格）をお使いください。プラグの極性など異なる製品を使うと、故障の原因になります。



- 電圧やプラグ極性が同じAC/パワーアダプターでも、電流容量その他の要因で故障の原因になります。必ず付属のAC/パワーアダプターをご使用ください。
- AC/パワーアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。
- AC/パワーアダプターを本棚や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に設置しないでください。
- 火災や感電の危険をさけるために、AC/パワーアダプターを水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、AC/パワーアダプターの上に花瓶などの水の入ったものを置かないでください。
- 充電は0℃～40℃Cの環境で行ってください。満充電されない場合があります。
- 長い間使わなかったときは、充電電池の持続時間が短くなる場合があります。何回か充放電を繰り返すと、十分に充電できるようになります。
- 使用可能時間が通常の半分ぐらいに低下した場合は、充電電池の寿命と考えられます。充電電池の交換については、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。
- 長期にわたって保存する場合は、高温の場所は避けて保存してください。また、1年以上の長期にわたって保存する場合は、充電電池の過放電防止のため、年1回程度の充電を行ってください。
- 付属の電池ケース付き接続コードを使って充電電池を充電することはできません。

### 充電時間の目安と持続時間

充電時間	持続時間*1
約3時間*2	約15時間*3

\*1 1 kHz、0.1 mW+0.1 mW出力時

\*2 電池残量がない状態から、満充電するのにかかる時間

\*3 周囲の温度や使用状態により、上記の持続時間と異なる場合があります。

### 充電電池の残量が少なくなると

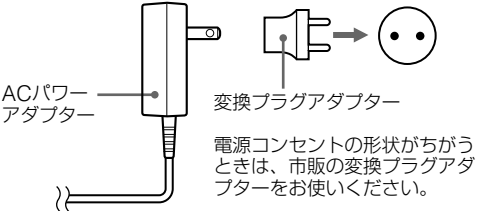
充電電池の残量が少なくなると、ヘッドホンから「ピッピッ…」と8秒間音が聞こえ、POWERランプがゆっくりと点滅します。さらに残量が少なくなると、ヘッドホンから「ピー」と2秒間音が聞こえ、POWERランプがすばやく点滅し、動作が停止します。この場合は、POWERスイッチを「OFF」にしてください。

### ヒント

- ご使用中に充電電池の残量がなくなったときは、以下の方法でお使いいただくことができます。
- 「ヘッドホンを充電する」の手順でヘッドホンにAC/パワーアダプターをつなぐ。充電をしながらヘッドホンをお使いいただけます。
- 付属の電池ケース付き接続コードを使う。詳細については、「電池ケース付き接続コードの使いかた」をご覧ください。

### 海外でご使用になるかたへ

本機に付属のAC/パワーアダプターは、AC100 - 240 V、50/60 Hzの範囲に対応しています。そのため、市販の変換プラグアダプターなどを使えば、ほとんどの地域でお使いいただけます。電源コンセントの形状は地域によってさまざまですので、お出かけ前に旅行代理店などでお確かめください。



### 変換プラグアダプターがなくても使える主な国/地域

- 日本
- アメリカ
- カナダ
- メキシコ など

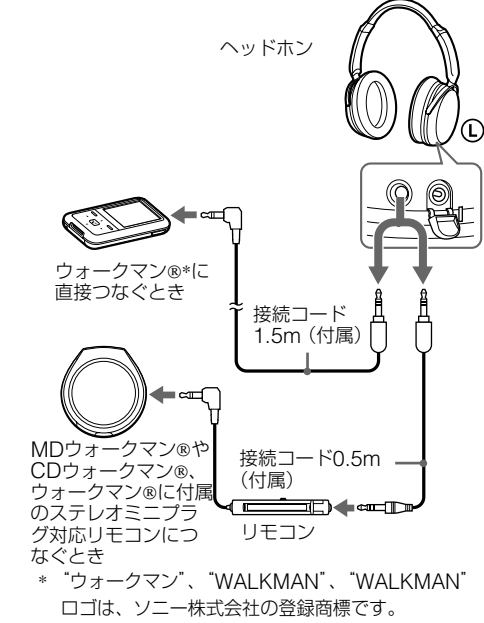
### ご注意

本機に付属のAC/パワーアダプターを海外旅行者用として市販されている「電子式変圧器（トランスコンバーター）」などに接続すると、故障の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

## 使いかた

## 音楽を聞く

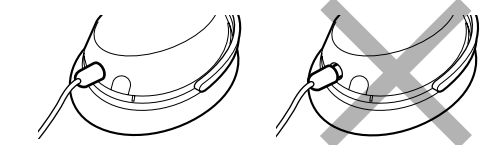
### 1 聞きたいAV機器にコードを接続する。



\*「ウォークマン」、WALKMAN™、WALKMAN™ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。

### ご注意

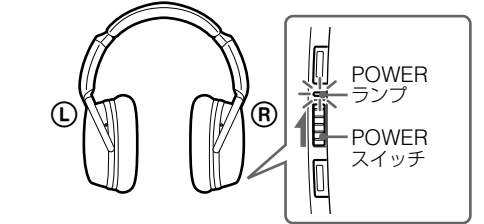
- 接続コードを取り付けるときは、プラグ部にある緑色の部分が見えなくなるまでジャックに差し込んでください。



- 接続コードを取りはずすときは、プラグ部を持って引き抜いてください。コードを引っ張ると断線のおそれがあります。

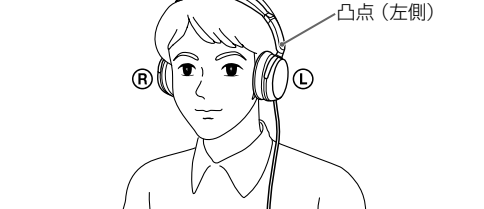
### 2 POWERスイッチを「ON」にする。

POWERランプが青く点灯し、ヘッドホンから「ピッ」と音が聞こえます。



### 3 ヘッドホンをかける。

コードを左側にPOWERスイッチを右側にして、ヘッドホンを頭にかけます。イヤープッドで耳を覆うように装着してください。



### 4 接続したAV機器の再生を始める。

- ご注意 電源が切れているときは、再生音は聞こえません。

## AIノイズキャンセリングを活用する

### 1 AI NC MODE ボタンを押す。

POWERスイッチを「ON」にしているときにAI NC MODE ボタンを押すと、ヘッドホンから解析開始を知らせる音が聞こえ、周囲の環境音の解析が始まります。（約3秒間）解析中はヘッドホンから再生中の音が聞こえなくなり、POWERランプがピンク色に点灯します。解析が終わると、周囲の環境に最も効果的なノイズキャンセリングモードへ自動的に切り替わり、ヘッドホンから再生音が聞こえるようになります。



### AIノイズキャンセリング

AIノイズキャンセリングはノイズキャンセリングモードを自動的に選択する便利な機能です。AI NC MODEボタンが押された時点での周囲環境音を即座に解析し、その場に最も効果的なノイズキャンセリングモードを提供します。

### ヒント

- ヘッドホンの電源を入れた直後はモードAが選択されています。（モードAの詳細については、「ノイズキャンセリングモードの種類」をご覧ください）
- 室内から屋外に移動したときなど、ご使用中に周囲の環境が変わったら、再びAI NC MODEボタンを押して、ノイズキャンセリングモードを設定し直してください。

### ノイズキャンセリングモードを手動で選択する

ノイズキャンセリングモードは、手動でも選択可能です。（マニュアルノイズキャンセリング）

- AI NC MODEボタンを1秒以上押す。ヘッドホンからマニュアルノイズキャンセリングへの変更を知らせる音（♪♪♪）が聞こえます。
- 好みのモードに切り替わるまで、AI NC MODEボタンを押す。POWERランプがピンク色に点滅し、ヘッドホンからピー音が聞こえたあと、ノイズキャンセリングモードが切り替わります。POWERランプの点滅回数およびヘッドホンから聞こえるピーブ音の回数は、「ノイズキャンセリングモードの種類」をご覧ください。

### ヒント

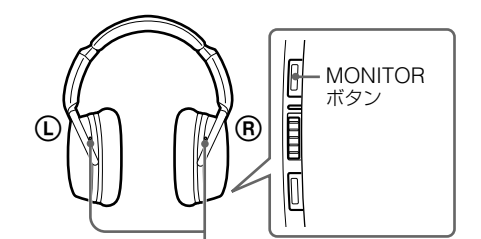
- マニュアルノイズキャンセリングに変更した直後は、モードAが選択されています。
- マニュアルノイズキャンセリングからAIノイズキャンセリングに変更するときは、AI NC MODE ボタンを1秒以上押します。ヘッドホンから変更を知らせる音（♪♪♪）が聞こえます。再びAI NC MODE ボタンを押すと周囲の環境音の解析が始まり、最も適したノイズキャンセリングモードへ自動的に切り替わります。

モードの名称	POWERランプ（ピンク色）の点滅回数およびピーブ音の回数
A	1
B	2
C	3

A:主に航空機内の騒音を効果的に低減
B:主にバス・電車の騒音を効果的に低減
C:主にオフィス・勉強部屋等、OA機器・空調機器の騒音を効果的に低減

## 周囲の音を注意して聞きたいときは

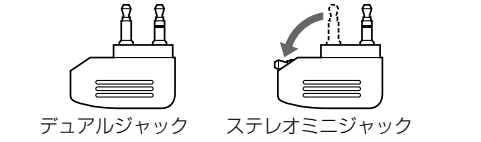
POWERスイッチを「ON」にしているときにMONITORボタンを押すと、押している間だけ周囲の音を聞くことができます。MONITORボタンを押している間は、再生音が聞こえなくなります。



- ご注意 MONITORボタンを押すときに指でマイク部分を覆うと、周囲の音が聞こえない場合があります。

## 航空機内で使用するとき

- 付属のプラグアダプターは、航空機内のデュアルジャックまたはステレオミニジャックに接続することができます。

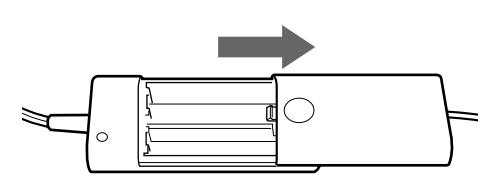


- 航空機内で電子機器の使用が禁止されている場合や、機内の音楽サービスを個人のヘッドホンで利用することが禁止されている場合は、本機を使用しないでください。

## 電池ケース付き接続コードの使いかた

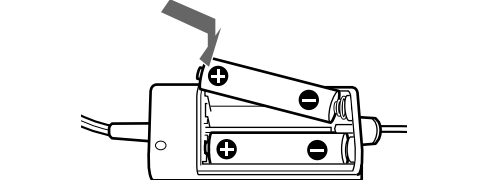
ヘッドホンに内蔵された充電電池の残量がなくなっても、付属の電池ケース付き接続コードを使用することで音楽を聞くことができます。電池ケース付き接続コードは、単3形アルカリ乾電池を2本入れて使用します。

### 1 電池ケースのふたを開ける。

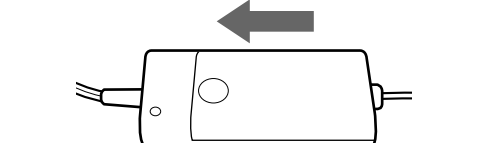


### 2 単3形アルカリ乾電池を入れる。

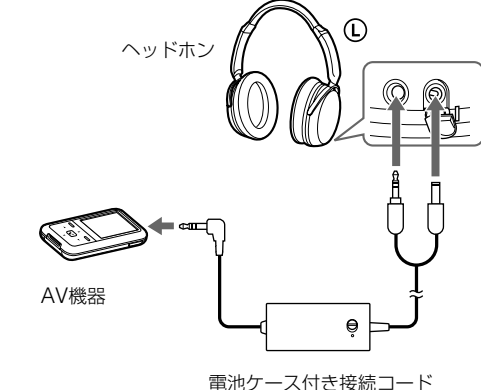
- 表示に合わせて正しく入れてください。



### 3 電池カバーを閉める。



### 4 電池ケース付き接続コードをヘッドホンとAV機器に接続する。

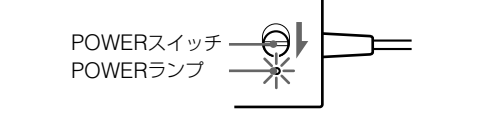


### ご注意

- 接続コードを取り付けるときは、プラグ部にある緑色の部分が見えなくなるまでジャックに差し込んでください。
- 接続コードを取りはずすときは、プラグ部を持って引き抜いてください。コードを引っ張ると断線のおそれがあります。

### 5 ヘッドホンのPOWERスイッチを「OFF」にし、電池ケースのPOWERスイッチを「ON」にする。

電池ケースのPOWERランプが緑色に点灯します。



以降の手順は、「音楽を聞く」の手順2～4をご覧ください。お使いになったあとは、ヘッドホンと電池ケースの両方のPOWERスイッチを「OFF」にしておいてください。

### ヒント

- 充電電池の残量があるときは、充電が優先的に使われます。
- 充電電池の残量が少ないときは、電池ケース付き接続コードをつないで電源を入れておくと、充電電池が切れた後も、接続コードをつなぎ直すことなくお使いいただけます。

### ご注意

- マンガン乾電池のご使用は、持続時間が極端に短いため、おすすめしません。
- 電池ケースは、ヘッドホン動作のための電源を供給します。充電電池は充電されません。
- 乾電池が消耗してくると、電池ケースのPOWERランプが暗くなってきます。乾電池を新しいものと交換してください。
- 付属の電池ケース付き接続コードは本機専用です。他の機器に接続しないでください。

乾電池の種類	持続時間*1
ソニー単3形アルカリ乾電池 LR6/AM3	約10時間*2

\*1 1 kHz、0.1 mW+0.1 mW出力時

\*2 周囲の温度や使用状態により、上記の持続時間と異なる場合があります。

### ご注意

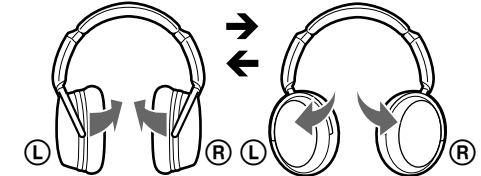
お買い上げの製品に付属している乾電池は動作確認のためのものです。付属の乾電池は工場出荷時点からお客様がご購入になるまでの期間に自己放電によりある程度消費しています。付属の乾電池をご使用になられた場合、乾電池の持続時間として記載されている所定の持続時間に満たないことがあります。

## お使いになったあとは

POWERスイッチを「OFF」にしておいてください。

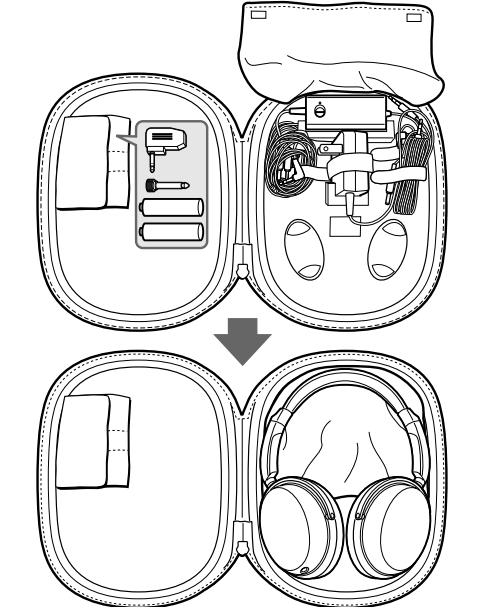
## ヘッドホンのたたみかた

ハウジング部は回転し、平らになります。付属のキャリングケースや座席のポケットに収納しやすくなります。使用するときには元に戻してください。



## キャリングケースに収納するとき

ヘッドホンをたたんでから、キャリングケースに収納してください。

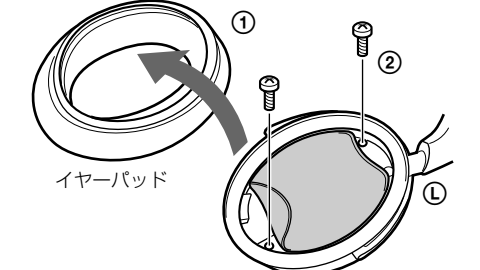


## その他

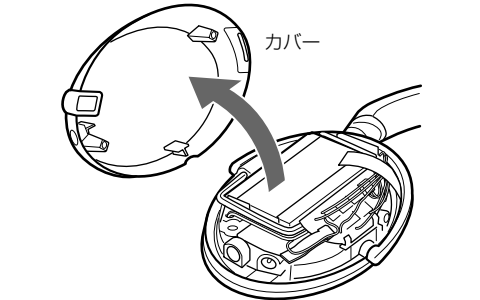
## 本機を廃棄する

本機はリチウムイオン充電電池を左ユニットに内蔵しています。環境保全のために、本機を廃棄する際は、充電電池を取りはずし適切に廃棄してください。

### 1 左ユニットのイヤープッドを取りはずし、図の位置にあるねじを2か所取りはずす。

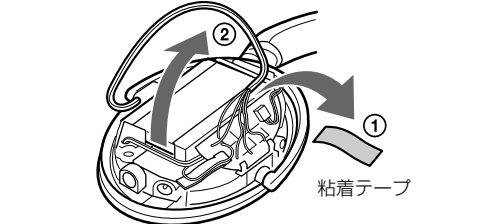


### 2 左ユニットを裏返し、外側のカバーを取りはずす。



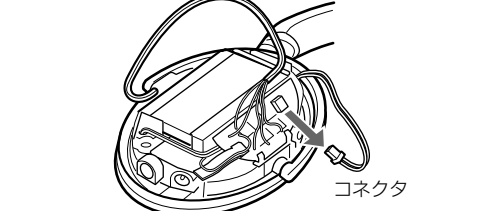
### 3 充電電池のそばにあるコードを、充電電池から離す。

はじめに充電電池の表面に貼られた粘着テープをはがします。次に充電電池の脇にあるコードを取り出します。



- ご注意 内部のコードは切断しないでください。

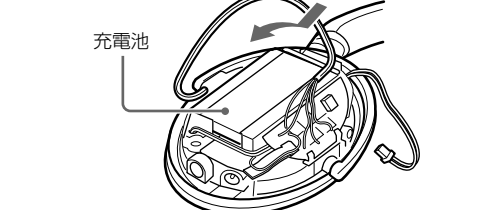
### 4 基板上にあるコネクタを引き抜く。



- ご注意 内部のコードを切断しないように、コネクタをはずしてください。

### 5 充電電池を取りはずす。

充電電池は粘着テープで固定されています。図の矢印の方向から、充電電池を持ち上げるように取りはずします。



- ご注意 充電電池の外装を傷つけないように取りはずしてください。

### 使用上のご注意

本機は、ノイズキャンセリング機能を搭載したヘッドホンです。

### ノイズキャンセリング機能とは

外部の環境ノイズ（乗り物内の騒音や室内の空調音など）と逆位相の音を出すことで環境ノイズが低減して聞こえる機能です。

- 静かな場所やノイズの種類によっては、ノイズキャンセリング効果が感じられない、またはノイズが大きくなると感じられる場合があります。
- ヘッドホンのかけ方によっては、ノイズキャンセリング効果が減少することがあります。
- ノイズキャンセリング機能は、乗り物や空調などの主に低い周波数帯域の騒音に対してもっとも効果を発揮します。すべての音が打ち消されるわけではありません。
- 自動車、バスなどでご使用の場合、路面状況によっては、ノイズが発生することがあります。
- ヘッドホンのかけ方により、ピーという音（ハウリング）が出る場合があります。このような場合は、ヘッドホンをかけ直してください。
- ヘッドホンの内側に指などを近づけると、ピーという音（ハウリング）が出る場合があります。このような場合は指を離してください。
- 携帯電話の影響によりノイズが入ることがあります。この場合は、携帯電話から本機を離してください。

### 取り扱い上のご注意

- 落としたりぶつかったりなどの強いショックを与えないでください。
- ユニット部分に汗などに扱ってください。
- 湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や直射日光のあたる場所には置かないでください。故障の原因となります。
- 常に良い音でおい聞きいただくために、プラグを時々柔らかい布でからぶきし、清潔に保ってください。
- 汚れは、乾いた柔らかい布でふき取ってください。その際、ユニット部に息を吹きかけることはしないでください。特にプラグ部分を汚れたままにしておくと、音質が悪くなったり、音かとぎれたりすることがあります。
- ヘッドホンをたたむときは、指を挟まないように注意してください。
- イヤープッドおよびヘッドクッションは長期の使用、保存によって劣化する恐れがあります。

イヤープッドは消耗品です。破損したら、お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」に記載されているお近くのソニーサービス窓口へお問い合わせの上、お取り寄せください。

万一故障した場合は、内部を開けずに、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

万一異常や不具合が起きたときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にお問い合わせください。

## 故障とお考えになる前に

音が出ない。

- ヘッドホンの電源を入れる。
- ヘッドホンに電池ケース付き接続コードを接続しているときは、電池ケースの電源を入れる。
- ヘッドホンの充電電池の残量を確認する。
- ヘッドホンに電池ケース付き接続コードを接続しているときは、電池ケースのアルカリ乾電池の残量を確認する。
- ヘッドホンと接続コードの接続を確認する。
- ヘッドホンとAV機器との接続を確認する。
- ヘッドホンにつないだAV機器の電源が入っているか確認する。
- つないだAV機器の音量を上げる。

音がひずむ。

- つないだAV機器の音量を下げる。
- ヘッドホンを充電する。
- 電池ケースのアルカリ乾電池を新しいものと交換する。

電源が入らない。

- ヘッドホンを充電する。
  - 充電しても電源が入らないときは、充電電池に劣化などの異常がある場合があります。この場合は、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。
- 電池ケースのアルカリ乾電池を新しいものと交換する。

操作できない。

- ヘッドホンのPOWERスイッチをOFFにし、接続を確認してから再度POWERスイッチをONにする。
- ヘッドホンをリセットする。
  - クリップなどの細い棒を右ユニット下部にあるRESETボタンの穴へ差し込み、ボタンの感触があるまで押します。